

まちを盛り上げたい 若者たちのアクション

地域活性化ボランティア団体「レボリューションズ」

毎月第2日曜日の夕方、平塚の駅周辺で清掃活動をしている若者たちがいる。平塚に住む若い世代を中心に構成されている地域活性化ボランティア団体REVOLUTIONS(レボリューションズ)のメンバーだ。団体名がプリントされた同じTシャツを着て黙々と作業を続ける彼らの風貌はごく普通の「今の若者」。遊びたい盛りの世代にとって貴重な日曜日、限られた休日の時間を使ってまでボランティア活動に精を出す理由とその目的は、

「平塚が好き」「地元を盛り上げたい」という20代が集まり結成され、昨年12月から毎月活動を行っている。少なくとも毎回10〜15人、多いときで40人程度が参加する。つながらず「地元平塚」年齢も通っていた学校もまちまちだが、つながりがつながらず呼び所属メン

バーは増え続けている。駅前の清掃活動ではいつも5〜6袋のゴミが回収できるという。

目的

地元を愛する彼らの目的は地域活性化であり、その手段のひとつになるのが「様々な地域イベントの手伝い」に呼ばれるこ

と。たまたま、地域で行われるイベント等にボランティアとして参加したいと考えている。彼らの持つネットワークで若い世代を動員し、且つマンパワーとして使ってもらい、盛り上げに協力する。もちろん無償のボランティアとして、地域活性化をねらったイベントに力を貸

すことは団体理念に一致するし、普通に生活していたら経験できない体験と出会えない人との出会いがある、それが「十分な見返り」だという。

試金石

同団体代表の外山元希(ごやまげんきさん)は「ただ「まちを盛り上げたい」と思っているだけであつたり、口にはいいだけでなく、行動が伴わないと意味がないと思うんです」と話す。「一言え、他の人たちにしてみればまだ得体の知れ

ない団体だと思っただから「まずは自分たちができることをやろうよ」ということでゴミ拾いを始めたんです。それも1回だけでは信用は得られない。まずは1年継続できるかどうか、こうして「駅前清掃」は彼ら自身の試金石となった。現在は実績を築いている道のりの途中にある。

若いからこそ

ボランティアの活動団体は市内に数多くあるが、ほぼ全員が20代という若さで大人数を擁する団体というのはあまり類を見ない。若い世代がやるからこそ同世代へ訴求できるといふ信念、そのため同団体では駅前清掃以外にもSTOP!! AIDSという活動もし、うちわを自主制作してHIV感染症予防啓発と検査の推進を若い世代へ呼びかけている。「年配のお医者さんに「若い人間が興味を持たない」と意味がない」と言われたことがきっかけだったんです。そのためには、年配の人たちが訴えるよりも自分たちの年代がやれば興味を持つてくれるだろうと」

お金よりも

「農作業を手伝ってく

う外山さん、私生活でもお金よりもやりがい」という意志を貫く。普段はバーのオーナーや、人材派遣の会社役員、アパレル企業の営業、イベント企画運営のコンサルティングなど多くの仕事に携わっているが「普通にサラリーマンしてたほうがよっぽど給料いいですよ」と笑う。「何の仕事をしているかと聞かれるとメインがわからないんですが、何がやりたいか」と聞かれればひとつだけ「好きな地元をより楽したく、SunSunマルシェやFLATなど、今平塚では新しい動きが多く生まれています。僕らも独自イベントを作っていきますが、協力要請があれば団体の壁を超えて手伝わせてもらいたいです」

遊びたい盛りの若い彼らだが、刺激を求めて都会に出ることはせず、地元をつまらないとも思わない。こうすれば住みやすくなるか、どうすれば住みやすくなるか、平塚で可能性を探している。目標は「横浜からも遊びに来るまち」へと盛り上げる。まずは街のゴミ拾いから可能性を模索する。

地域活性化ボランティア団体 REVOLUTIONS1
〇問い合わせ
090-2308-3099
9(代表 外山さん)
〇HP
<http://revolutions2010.info/>



〈上〉清掃終了後、拾ったゴミと記念撮影する参加者の若者たち
〈右下〉駅周辺で清掃活動をするようす
発足当初はTシャツではなく私服で活動していた
〈左下〉参加者への連絡やweb制作で団体の中心メンバー
左から数田俊樹さん、代表の外山元希さん、山口徹郎さん